



# 布水だより

No. 9

令和7年10月24日

布水中学校

校長 若狭 朋幸

## 〈 令和7年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について 〉

4月に標記学力調査が3年生を対象に行われました。学校では結果について分析・考察を行い、今後の学力向上の取組方針を定めましたのでお知らせします。



教科	分析・考察	今後に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>資料を読み、書き手の意図や伝わりやすい文章について考えることができる生徒が多い。</li><li>語彙の知識だけに頼らず、文脈の中で言葉の意味を類推する力が十分でないことがうかがえる。</li><li>文章の構成や展開について考えたことを、根拠を明確にして書くことが、苦手な生徒が多い。複数の資料から内容を読み取り、結び付ける力が十分ではないことがみてとれる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>独特の表現を用いた文章を読む際に、前後の文脈や状況から言葉の意味を類推し、確かめる機会を設定する。</li><li>複数の資料から内容を読み取り、考えをまとめることができるようにするため、関連する文章・資料を読み、比較して考えをまとめる活動を設定する。</li></ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎基本となる歴史的な事象について理解できている生徒が多い。</li><li>時代ごとの文化を比較して特色を説明する問題で文化が成立した時代の特色を関連付けられていない。</li><li>2つの府県の特色について資料から事実を読み取ることはできる。一方、資料を基に考察し適切に表現する問題で、資料の読み取りが考察につながっていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>文化が成立した背景やその時代の特色を理解できるように、芸術作品や人物だけでなく、社会の動きや既習の文化との比較などを通して、文化が成立した背景やその時代の特色を捉えることができるような場面を授業の中で取り入れる。</li><li>資料から読み取ったことを基に考察したり、表現したりする場面を増やしていく。記述内容に対する具体的な助言や、思考の方向性を示す働きかけを行う。</li></ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"><li>正負の数の計算や文字式の計算はミスなくできる生徒が多い。</li><li>基本的な数学的知識が不十分な面がある。</li><li>説明が必要な問題が書けず無回答となることがある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>素数や図形の角度の基本的な知識を問う問題を随時取り入れ、基本的知識の定着を図る。1次関数に関する単元は、つまりく生徒が非常に多いところである。関数の意味を再度確認し、1年次の比例と反比例とも関連させて学習を進める。</li><li>授業では、説明が必要な問題が書けるように生徒が説明する時間を設けていく。</li></ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"><li>水中生物において生命を維持する働きがあることを概念として捉えている生徒が多い。</li><li>「立てた仮説が正しければ、こういう結果になるはずだ」と、仮説が正しい場合の結果を予想する力が弱い。</li><li>回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身についていない生徒が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生物や物質、事象を比較し、共通点や相違点を見いださせる活動を継続して行う。</li><li>例えば、「光合成は〇〇〇で行われているはずだ」という仮説を立て、葉を用いて実験した時、仮説が正しければどのようなヨウ素液の反応があるか根拠立てて考える活動を設定する。</li><li>複数の要素が絡む事象（電圧、電流、抵抗や、質量、体積、密度など）を、観察、実験を通して、理解する活動を工夫する。</li></ul>

英 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法項目やきまりを理解できている生徒は多い。</li> <li>リスニングでは一部しか聞き取れず、解答を導き出せていない。</li> <li>会話文を読んで場面に合う疑問詞を用いた英文を選ぶ設問ができていない。</li> <li>会話文を書く設問で名詞に s を付けていない等の軽微な誤りが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニングでは、疑問詞、Y e s / N o など、聞くポイントを押さえる。ペアワーク活動をする中で、相手の質問に答えるだけでなく、さらに相手に質問したり、問い返したりする時間を増やす。</li> <li>単語を授業で取り扱う際に、イディオムについても意味や用法を確認する。疑問詞を用いた疑問文の意味を理解させるため教科書の会話文を穴埋めにするなど工夫する。</li> <li>名詞を単数か複数か区別して英文を書けるように、英作文のポイントを生徒と共有しながら、セルフチェックやペアチェックをさせ、生徒自らが修正する場を設ける。また正しく文法事項を活用することができるように基礎・基本の定着を図る。</li> </ul>
--------	--	--

## ◇質問紙調査結果（抜粋）

学力調査に加え、学習状況（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）に関する質問紙調査も併せて行われました。一昨年度、昨年度と比較した調査項目を一部紹介します。

☆自己肯定感の高まり☆	令和7年度	令和6年度	令和5年度
自分には、よいところがあると思いますか	92.2%	83.5%	80.0%
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89.2%	90.4%	89.1%
生徒の自己肯定感の高まりが見られます。保護者や教師からの丁寧な声かけや個性の承認が子どもたちに伝わっていると考えられます。この傾向を維持・強化して、生徒がより安心できる学校生活を送れるよう努めます。			

☆学校生活の楽しさ☆	令和7年度	令和6年度	令和5年度
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.2%	80.0%	77.8%
友達関係に満足していますか	93.3%	90.3%	88.2%
学校全体の雰囲気が良い方向に向かい、生徒が日々を前向きに過ごしていることが感じられます。今後はすべての生徒が「楽しい」と感じられるよう、学習面だけでなく、部活動、委員会活動、行事など、様々な場面で一人ひとりの個性が輝けるようにしていきたいと考えています。			

☆授業に関する取り組み☆	令和7年度	令和6年度	令和5年度
1. 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	76.1%	84.7%	72.2%
1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	78.9 %	84.7%	75.5%
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	72.3%	73.9%	67.7%
数値に低下が見られます。生徒が受け身の学習姿勢になっている、あるいは生徒の「やってみよう」という意欲を十分に引き出せていないことが考えられます。生徒一人ひとりの「主体的に学ぶ力」と「考える力」を確実に伸ばして「確かな学力」を身に付けられるよう、授業の改善を行いたいと思います。			

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。  
学校への質問やご意見などがございましたら下記どうぞ。

連絡先 076-248-0039（担当 教頭 北川・主幹 東方）  
メール [fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)